

「はじめての落語」

～寄席で出会う“笑い”と“人情”の世界～

落語はもともと、庶民の暮らしに根ざした大衆芸能です。落語のルーツは江戸時代、庶民の集う街角や茶屋から生まれ、現代にいたるまで多くの人々を笑わせてきました。「落語」とは何か—ひとりの演者がさまざまな役を演じ分け、扇子や手ぬぐいといった小道具、シンプルな舞台セットで“世界”を描き出します。

本講座では、落語家・春風亭昇吉が初心者にも親しみやすい演目を実演し、その後、それぞれの演目に込められた時代背景や文化、言葉の意味、人物描写、笑いの仕組みなどを分かりやすく解説します。講座の後半では、教材『マンガでわかる落語』を用いながら、落語の歴史や寄席文化、古典落語と新作落語の違い、鑑賞のポイント、メディアの変遷など、落語全体を俯瞰して学びます。

落語の歴史や楽しみ方、知っておきたい鑑賞のポイントまで、初めての方にも分かりやすくお伝えし、落語を通して人生が楽しく、豊かになるような事柄を扱いたいと思います。

【講師紹介】春風亭 昇吉

史上初の東京大学出身落語家。大学時代に全日本学生落語選手権・策伝大賞で優勝し、卒業時には日本人で唯一、東京大学総長大賞に輝く。大学卒業後、「笑点」司会や新作落語で著名な春風亭昇太郎に弟子入りし、厳しい修業を経て2021年に真打昇進。

現在は高座だけでなく、テレビ・ラジオ番組の司会や大学講師としても幅広く活躍。

落語のユニバーサルデザイン化にも尽力し、あらゆる世代・立場の人が楽しめる落語を目指している。著書に「マンガでわかる落語」(誠文堂新光社)がある。



【講師】春風亭 昇吉

■日 時 2026年10月5日、11月16日、12月14日(全3回)

■授業テーマ

第1回 落語の基本と、笑いから広がる物語の世界 演目：「子ほめ」「死神」

「落語とは何か—ひとりで世界を描く話芸」

寄席の基本、落語の聴き方、扇子・手ぬぐいの使い方、人物の演じ分けなどを、実演を交えながら分かりやすくお伝えします。

落語を初めて聴く方にも、どこを見れば面白いのか、どのように一人で複数の人物を演じ分けているのかを体感していただきます。

第2回 江戸の暮らしと人間模様 演目：「水屋の富」「明烏」

「古典落語の世界—登場人物とジャンルを知る」

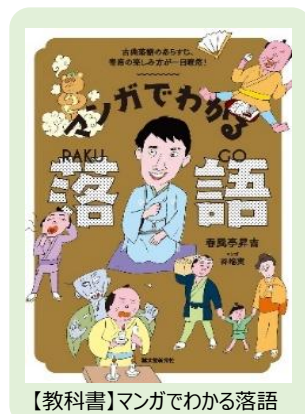
古典落語に登場する長屋の住人、若旦那、与太郎、ご隠居、商人、侍などの人物像を紹介しながら、滑稽噺、人情噺、怪談噺、廓噺など、ジャンルごとの魅力を解説します。落語に描かれる江戸の暮らしや人間模様を、実演とともに楽しんでいただきます。

第3回 言葉の笑いと、人情噺の深み 演目：「垂乳根」「柳田格之進」

「落語家と寄席の世界—伝承、舞台、これからの楽しみ方」

前座・二つ目・真打の違い、師匠と弟子の関係、落語家の一日、稽古や芸の受け継がれ方などを紹介します。

あわせて、江戸の町や落語の舞台、寄席の楽しみ方、初心者の方の素朴な疑問なども扱い、講座後もご自身で落語を楽しんでいただきます。



【教科書】マンガでわかる落語

■曜日・時間 月曜日 14時～16時(120分) ■定員 12名(先着順)

■受講料 全3回 6,000円(税込) 教材費 1,650円

※教科書「マンガでわかる落語、春風亭昇吉／著」をお持ちでない方

■会場 カルッツかわさき 中会議室3 ■持ち物 筆記用具、ノート、教科書

*教材、内容は予告なく変更する場合がございます。 *受講生が一定数に達しない場合等、やむを得ず講座を中止にする場合がございます。

●募集期間：9月5日(土) 10:00～9月27日(日) 18:00

*先着順のため定員数に達しだい受付を終了させていただきます。

●お申し込み方法：①<カルッツかわさき> 1階総合受付でのお手続き

②お電話によるお申し込み(☎ 044-222-5223)

③<カルッツかわさき> ホームページからWEBでのお申し込み

*9月27日(日) 18:00までに、<カルッツかわさき> 1階総合受付にて受講料をお支払いください。



<お申し込み・お問い合わせ>

Tel. 044-222-5223

Fax. 044-222-5122

Mail. culttz-support@c-linkage.co.jp

〒210-0011 川崎市川崎区富士見 1-1-4

<アクセス>

◎JR 川崎駅・京急川崎駅より徒歩 15 分

◎川崎駅東口バスターミナルより乗車 5 分「カルッツかわさき・富士見公園」下車すぐ